



東京全労協

2020年3月5日 119
東京都港区新橋4-21-7
つるや加藤ビル4階B
TEL. 03-5403-1650
FAX. 03-5403-1653
発行人 大森 進
定 価 1部 10 円

2・14 東京総行動

「働く権利・働く者の権利・人間としての権利」

2・14東京総行動・20けんり春闘・経団連前行動
2月14日第174回の東京総行動による「働く権利・働く者の権利・人間としての権利」をスローガンとして1日行動が取り組まれた。

スタート集会は、総務省前で東京総行動大森代表から、全争議団闘争の勝利に向けた闘いの強化と、20春闘での職場からの闘いと連動した春闘の構築を目指して闘って行く決意表明がされた。

その後、東リ（偽装請負）、日鉄ソリューションズ（セクハラ）、最高裁（残業未払い）、リソルホールディングス（アセススト被害）、東京都庁（労災・解雇）、東京福祉大（スラップ訴訟）等の社前での抗議や申し入れを行い再結集して、トヨタ東京本社前では神奈川シテイユニオンが歌で盛り上げ、フィリピントヨタ労組の237名解雇20年目の闘いに決意を新たにしてきた。

その後の、東リ（偽装請負）、日鉄ソリューションズ（セクハラ）、最高裁（残業未払い）、リソルホールディングス（アセススト被害）、東京都庁（労災・解雇）、東京福祉大（スラップ訴訟）等の社前での抗議や申し入れを行い再結集して、トヨタ東京本社前では神奈川シテイユニオンが歌で盛り上げ、フィリピントヨタ労組の237名解雇20年目の闘いに決意を新たにしてきた。

その後、東リ（偽装請負）、日鉄ソリューションズ（セクハラ）、最高裁（残業未払い）、リソルホールディングス（アセススト被害）、東京都庁（労災・解雇）、東京福祉大（スラップ訴訟）等の社前での抗議や申し入れを行い再結集して、トヨタ東京本社前では神奈川シテイユニオンが歌で盛り上げ、フィリピントヨタ労組の237名解雇20年目の闘いに決意を新たにしてきた。

その後、東リ（偽装請負）、日鉄ソリューションズ（セクハラ）、最高裁（残業未払い）、リソルホールディングス（アセススト被害）、東京都庁（労災・解雇）、東京福祉大（スラップ訴訟）等の社前での抗議や申し入れを行い再結集して、トヨタ東京本社前では神奈川シテイユニオンが歌で盛り上げ、フィリピントヨタ労組の237名解雇20年目の闘いに決意を新たにしてきた。



今年も春闘期に取り組まれる、20けんり春闘全国実行委員会の取り組みと共同で行ってきた。

その後、東リ（偽装請負）、日鉄ソリューションズ（セクハラ）、最高裁（残業未払い）、リソルホールディングス（アセススト被害）、東京都庁（労災・解雇）、東京福祉大（スラップ訴訟）等の社前での抗議や申し入れを行い再結集して、トヨタ東京本社前では神奈川シテイユニオンが歌で盛り上げ、フィリピントヨタ労組の237名解雇20年目の闘いに決意を新たにしてきた。

その後、東リ（偽装請負）、日鉄ソリューションズ（セクハラ）、最高裁（残業未払い）、リソルホールディングス（アセススト被害）、東京都庁（労災・解雇）、東京福祉大（スラップ訴訟）等の社前での抗議や申し入れを行い再結集して、トヨタ東京本社前では神奈川シテイユニオンが歌で盛り上げ、フィリピントヨタ労組の237名解雇20年目の闘いに決意を新たにしてきた。

その後、東リ（偽装請負）、日鉄ソリューションズ（セクハラ）、最高裁（残業未払い）、リソルホールディングス（アセススト被害）、東京都庁（労災・解雇）、東京福祉大（スラップ訴訟）等の社前での抗議や申し入れを行い再結集して、トヨタ東京本社前では神奈川シテイユニオンが歌で盛り上げ、フィリピントヨタ労組の237名解雇20年目の闘いに決意を新たにしてきた。

2・28 労働弁護団東京支部との意見交流を開催!

2月28日、港区立三田いきいきプラザにおいて、労働弁護団東京支部・東京全労協との意見交流が取り组まれました。参加は各ブロックと労組、争議団が参加して有意義な時間が共有出来たと思います。

開催にあたり、大森東京全労協議長より、本日の学習を闘いのエネルギーに変えて職場・地域で奮闘していこう。と挨拶があり、労働弁護団東京支部・早田事務局長からは、弁護団との交流では裁判だけではなく、日常の労働や闘いなどを交流できれば、有意義な時間になる。と挨拶のあと、意見交流に入っていました。

第1部はミニ学習会として、労働契約法20条の制度廃止について井上支部長より約30分程、講義をいただきました。続いてハラスメントの実効性について新村弁護士より約15分程お話をいただきました。

NPO法人安房文化遺産フォーラムよりお礼
2019年8月31日～9月1日の日程で東京全労協の交流宿泊「房総半島戦跡ツアー 過去の真実と今を知る旅」を取り組み、その直後に台風15号、19号によりフォーラムの事務所が被災しました。

2019年12月7日の東京全労協定期大会の中で復旧支援としてカンパの呼びかけを行いました。50,000円を集約して、安房文化遺産フォーラムにお送りしました。

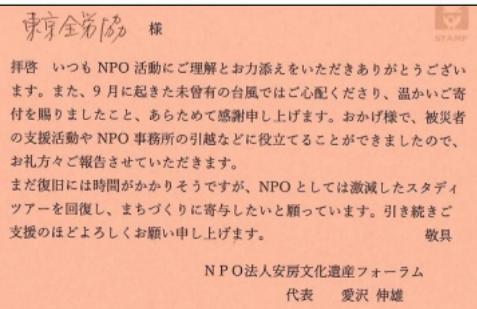
先日お礼状が届きましたのでこの紙面でご報告いたします。
(岩野)



NPOフォーラムだより～新事務所

領収証送り状

このたびの台風15号・19号・豪雨による当地での災害につきまして、皆さまから温かいお心遣いをいただき、感謝申し上げます。本来であれば早急にお礼を申し上げるところ、遅くなりまして大変申し訳ございません。領収証を送付いたしますので、ご査収ください。どうぞ、今後もお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。



NPO法人安房文化遺産フォーラム
代表 愛沢 伸雄
〒294-0045 千葉県館山市北条1721-1
TEL&FAX: 0470-22-8271
Mail: awabunka.npo@gmail.com



2・19 全労協脱原発集會 再稼働阻止、全原発廃炉を めざし運動の前進を勝ち取ろう！

2月19日全水道会館において全労協脱原発集會が行われた。

集會に先立つて各地の闘いの交流会が行われた。京都総評から「関電の原発マネー不正還流」など、静岡県共闘から浜岡原発再稼働阻止、宮城全労協から女川原発再稼働反対や被ばく労働裁判など、東京からは東京電力への交渉経過など、各地からの報告があった。

午後6時30分から始まった集會へは70余名が集結した。集會では福島原発告訴団武藤類子団長から「福島原発裁判と福島は今」の講演が行われた。

講演では、「福島第一原発が30メートルの高さの建築用地を20メートル掘り下げて作られた当初から経済効率が優先されてきたこと。2008年の時点で東電は予想される津波の高さが15.7メートルであることを知っていたこと」などが語られた。

講演の途中に上映された「東電刑事裁判不当判決」のDVDは19年9月19日の東京地裁判決「旧

経営陣全員無罪」の不当性があます所なく描かれていた。続いて武藤氏は、「福島第一では2019年上半期までに死者20人、負傷者222人等の犠牲の上に廃炉作業が行われていること、大量の除染廃棄物の処理の問題などが未だに何一つ解決していないこと」などが語られた。

告訴団へのカンパの呼びかけの後、関西・静岡・宮城から闘いの報告があった。参加者は今後も全国各地の取り組みを交流しながら、再稼働阻止、全原発廃炉をめざし運動を行うことを決意し集會を終えた。

藤村常任幹事



20春闘勝利！ 総労働の闘いで大幅賃上げを勝ち取ろう！

20けんり春闘全国実行委員会は2月14日、経団連前において「8時間働けば生活できる社会を！」をスローガンに、「誰でもどこでも時給1500円、月額25万円」「貧困・格差・差別を許さない」を訴え、20春闘勝利！経団連前抗議行動を200名の仲間が参加して、大幅賃上げと労働条件の改善を求め、東京総行動と一日行動として闘った。

抗議集會は東京全労協渡辺学事務局次長の司会で開会し、共同代表の渡辺洋全労協議長は、「今朝、郵政労働者が全国で立ち上がった。ともに連

帯して闘う。」と述べ、20春闘を「生きるための賃金を求めて闘いを進める」と力強く挨拶を行った。決意表明で郵政産業労働者ユニオン日巻委員長は、同日に全国7カ所で154名の非正規労働者が労契法20条裁判の追加訴訟に立ち上がったことを報告し、「同一労働同一賃金」「均等待遇」の実現を求めて非正規労働者の待遇改善に向けて闘い抜く決意を明らかにした。大阪ユニオンネット垣沼代表は、労働組合に対する警察弾圧が続いていることに触れ「関ナマ支部を支え闘いを続けよう」と連帯を呼び掛けた。全国一

東部労組個人タクシー世田谷第三 職員支部が銀座アピール行動！

全国一般東京東部労組個人タクシー協同組合世田谷第三職員支部は2月3日、東京・銀座でのアピール行動を実施した。

職員の1人が3月から60歳定年再雇用を迎えるにあたり使用者側が半分の賃金でしか再雇用しないという不当に低い条件を設定していること、使用者側が不当労働行為（労働組合からの脱退強要）を居直っていることに抗議するためである。



当日は、使用者が上部団体主催の賀詞交換会に出席することだった

般全国協・渡辺書記長、神奈川春闘共闘・風呂橋さん、中小ネット・鳥井事務局長が、労働時間短縮、正規労働者との均等待遇、外国人労働・技能実習生制度などの労働者の闘いで解決を図ろうと決意を明らかにした。JAL不当解雇撤回原告団、FAユニテッド闘争団が解雇撤回・原職復帰を求め闘う決意を表明し、連帯を訴えた。

集會の最後は、司会の渡辺事務局次長の力強いシュプレヒコールを経団連に叩き付け、全造船真島委員長の団結ガンパローで、20春闘勝利に向け闘うことを確認して経団連抗議行動を終了し、組合つぶし解雇攻撃を行うトヨタ東京本社・JAL本社前での再結集を約束し午後の東京総行動へと行動を開始した。

ので会場である銀座東武ホテル前でアピール行動を展開した。東部労組各支部と友好労組から約70人が支援に駆けつけた。使用者がホテルに入ろうとしたところを参加者全体で抗議の声を浴びせた。組合員は「再雇用は私一人の問題だけではなく今後の職員にも関係していく。生活を守るといふことで考え直してほしい」と訴えた。

矢部常任幹事

青年委員会「国鉄闘争に学ぶ」学習会 20名の参加で意見交流 盛り上がる！

2月15日(土)、港区立新橋・生涯学習センターばるーんにおいて学習会を開催しました。94年制作の映像、闘争解決局面の2010年制作のTVドキュメンタリーを観賞した後、国労闘争団1047名の1人だった岩野さん(現全労協書記。元国労音威子府闘争団)からお話を伺いました。国鉄分割民営化が、労働運動に如何に大きな打撃を与え、知識も技術もある労働者に対し、国家的不当労働行為がどのようにして行われたのか。国労闘争の歴史を踏まえ私たちはどう闘うべきなのか...質問や意見が飛び交いました。



東京清掃7名、JAL争議団3名、ユニオンネットお互いさま5名、大田区職労1名、全国一般東京なんが2名、全国一般三多摩1名の参加があり、懇親会も15名参加と有意義な意見交流の場となりました。

青年委員会事務局長 渡辺香織

2020年沖縄平和行進の取り組み

沖縄平和運動センターは、例年通りの取り組みを行うことを確認し、詳細は現在調整中。

(日程は予定)

日程 2020年5月15日(金)～5月18日(月)

3泊4日。

5月17日 8:00 ホテル～平和行進～県民大会～ホテル、総括交流会

5月18日 9:00 キャンプシュアブゲート前、

15:30 那覇空港出発ターミナル集合、

16:30 那覇 ANA472 羽田18:55、解散

募集枠 東京全労協 20名(責任者2名+ブロック2名×6、単組枠6名)

呼びかけ 沖縄へ行こう実行委員会で行動日程を確定後、第2回常任幹事会で取組について提起し、参加者の氏名報告を第一次2月末、最終3月末で確定。

参加費 80,000円

東京全労協助成 30,000円/名